

2022 年 9 月 6 日

J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	ポリファーマシーによる腎前性AKI/AKD（急性腎障害/腎臓病）リスクの検討
倫理委員会承認番号	No.22-39
研究の対象	<p>選択基準：</p> <p>1) 当院で2018年4月～2021年3月に“急性腎前性腎不全”のDPC病名で入院した方</p> <p>2) 1)のうち可逆的にsCreが改善した症例</p> <p>除外基準：</p> <p>1) 入院中に維持透析に至った症例</p> <p>2) 入院中に死亡した症例</p>
研究目的・方法	<p>院外発症のAKI/AKDの多くはいわゆる腎前性が多く、レニンアンギオテンシン阻害薬/アルドステロン拮抗薬（RAASi）、利尿薬に加えNSAIDsや活性型ビタミンDなどの間接毒性によるAKI/AKDに遭遇する頻度が高い。4年間に当院で“急性腎前性腎不全”のDPC病名で入院した116例において、前述の4種類の対象薬剤の使用数がAKI/AKDの重症度に影響を与えるかについて診療録をベースとした横断研究を行う。年齢、性別、基礎疾患、回復前後のデータおよびGFRに影響を与える対象薬剤（RAASi・利尿薬・NSAIDs・活性型ビタミンD製剤）の使用状況を調査する。説明変数の二群比較はマンホイットニー及びχ^2検定で行い、KDIGO重症度基準を目的変数としてロジスティック回帰分析を行う。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	診療記録から得られる情報（病歴、既存の血液検査データ）
外部への試料・情報の提供	なし
個人情報の取り扱い	<p>使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。</p> <p>また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。</p>
利益相反の有無	無
お問い合わせ先	<p>廿日市市地御前1丁目3番3号</p> <p>J A 広島総合病院 腎臓内科</p> <p>研究責任者：山内崇宏</p> <p>TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573</p>
備考	